

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和5年3月31日(2023.3.31)

【国際公開番号】WO2022/019250  
 【出願番号】特願2022-537990(P2022-537990)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00(2006.01)

B 6 5 H 7/06(2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 5 6 7 B

H 0 4 N 1/00 3 5 0

B 6 5 H 7/06

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月18日(2023.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原稿を読み取って画像データを生成する読取ジョブの設定を受け付ける操作パネルと、前記読取ジョブで読み取るジョブ原稿の搬送をガイドする原稿搬送路を有し、前記ジョブ原稿を前記原稿搬送路に給紙して搬送する原稿搬送ユニットと、

前記操作パネルが受け付けた前記読取ジョブの設定内容に基づき、前記読取ジョブを制御する制御部と、を備え、

前記ジョブ原稿の搬送経路には、一方側から他方側に向かって延び、途中で折り返して前記一方側に向かって延びる第1搬送経路と、途中で折り返さず直線的に延びる第2搬送経路とがあり、

30

前記ジョブ原稿の種類が普通紙ではない特定種類るとき、前記第1搬送経路を使用する旨の設定がなされていれば、前記制御部は、前記読取ジョブの実行前に、前記操作パネルに警告メッセージを表示させ、

前記原稿搬送ユニットに開閉可能に設けられ、閉じられることにより、前記第2搬送経路の排出口を塞ぐカバーを備え、

前記ジョブ原稿の種類が前記特定種類るとき、前記第2搬送経路を使用する旨の設定がなされていても、前記カバーが閉じられていれば、前記制御部は、前記読取ジョブの実行前に、前記操作パネルに前記警告メッセージを表示させることを特徴とする画像読取装置

40

【請求項2】

前記第2搬送経路を使用する旨の設定がなされており、かつ、前記カバーが開けられている場合、前記制御部は、前記警告メッセージを表示させないことを特徴とする請求項1に記載の画像読取装置。

【請求項3】

原稿を読み取って画像データを生成する読取ジョブの設定を受け付ける操作パネルと、前記読取ジョブで読み取るジョブ原稿の搬送をガイドする原稿搬送路を有し、前記ジョブ原稿を前記原稿搬送路に給紙して搬送する原稿搬送ユニットと、

前記操作パネルが受け付けた前記読取ジョブの設定内容に基づき、前記読取ジョブを制御する制御部と、を備え、

50

前記ジョブ原稿の搬送経路には、一方側から他方側に向かって延び、途中で折り返して前記一方側に向かって延びる第1搬送経路と、途中で折り返さず直線的に延びる第2搬送経路とがあり、

前記ジョブ原稿の種類が普通紙ではない特定種類るとき、前記第1搬送経路を使用する旨の設定がなされていれば、前記制御部は、前記読取ジョブの実行前に、前記操作パネルに警告メッセージを表示させ、

前記読取ジョブの開始以降、前記制御部は、前記ジョブ原稿によるジャムが発生する可能性があるか否かを判断し、

前記ジャムが発生する可能性があるかと判断したとき、前記制御部は、前記読取ジョブを中断し、前記読取ジョブを再開するかキャンセルするかの受け付けを前記操作パネルに行わせ、

10

前記原稿搬送路の第1位置から第2位置に向かって搬送される前記ジョブ原稿の前端が前記第2位置への理論上の到達予定時点からマージン時間が経過した時点になっても到達しなかったとき、前記制御部は、前記ジャムが発生したと判断し、

前記読取ジョブを再開する旨を前記操作パネルが受け付けたとき、前記制御部は、前記マージン時間を前記読取ジョブの中断前よりも長い時間に設定して前記読取ジョブを再開することを特徴とする画像読取装置。

#### 【請求項4】

原稿を読み取って画像データを生成する読取ジョブの設定を受け付ける操作パネルと、前記読取ジョブで読み取るジョブ原稿の搬送をガイドする原稿搬送路を有し、前記ジョブ原稿を前記原稿搬送路に給紙して搬送する原稿搬送ユニットと、

20

前記操作パネルが受け付けた前記読取ジョブの設定内容に基づき、前記読取ジョブを制御する制御部と、を備え、

前記ジョブ原稿の搬送経路には、一方側から他方側に向かって延び、途中で折り返して前記一方側に向かって延びる第1搬送経路と、途中で折り返さず直線的に延びる第2搬送経路とがあり、

前記ジョブ原稿の種類が普通紙ではない特定種類るとき、前記第1搬送経路を使用する旨の設定がなされていれば、前記制御部は、前記読取ジョブの実行前に、前記操作パネルに警告メッセージを表示させ、

前記読取ジョブの開始以降、前記制御部は、前記ジョブ原稿によるジャムが発生する可能性があるか否かを判断し、

30

前記ジャムが発生する可能性があるかと判断したとき、前記制御部は、前記読取ジョブを中断し、前記読取ジョブを再開するかキャンセルするかの受け付けを前記操作パネルに行わせ、

回転することにより、前記原稿搬送路の所定位置に向けて前記ジョブ原稿を搬送するローラー部材を備え、

前記ローラー部材による前記ジョブ原稿の搬送開始から所定時間が経過しても、前記ジョブ原稿の前端が前記所定位置に到達しなかったとき、前記制御部は、前記ローラー部材の回転を停止させてから、前記ローラー部材による前記ジョブ原稿の搬送をリトライし、

前記ローラー部材による前記ジョブ原稿の搬送のリトライ回数が上限回数に達しても、前記ジョブ原稿の前端が前記所定位置に到達しなかったとき、前記制御部は、前記ジャムが発生したと判断し、

40

前記読取ジョブを再開する旨を前記操作パネルが受け付けたとき、前記制御部は、前記上限回数を前記読取ジョブの中断前よりも多い回数に設定して前記読取ジョブを再開することを特徴とする画像読取装置。

#### 【請求項5】

前記読取ジョブを再開する旨を前記操作パネルが受け付けたとき、前記制御部は、前記ジョブ原稿の搬送速度を前記読取ジョブの中断前よりも遅い速度に設定して前記読取ジョブを再開することを特徴とする請求項3または4に記載の画像読取装置。

#### 【請求項6】

50

前記原稿搬送路に給紙された前記ジョブ原稿の厚さを検知する厚さセンサーを備え、前記制御部は、前記ジョブ原稿の厚さに基づき、前記ジャムが発生する可能性があるかを判断することを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の画像読取装置。

【請求項 7】

前記第 1 搬送経路を使用する旨の設定がなされた前記読取ジョブにおいて、前記ジョブ原稿の厚さが所定厚さ以上であることを検知したとき、前記制御部は、前記ジャムが発生する可能性があると判断することを特徴とする請求項 6 に記載の画像読取装置。

10

20

30

40

50